

⑫城南岐大線、⑬⑭城南芋島線

路線の概要

現在の計画

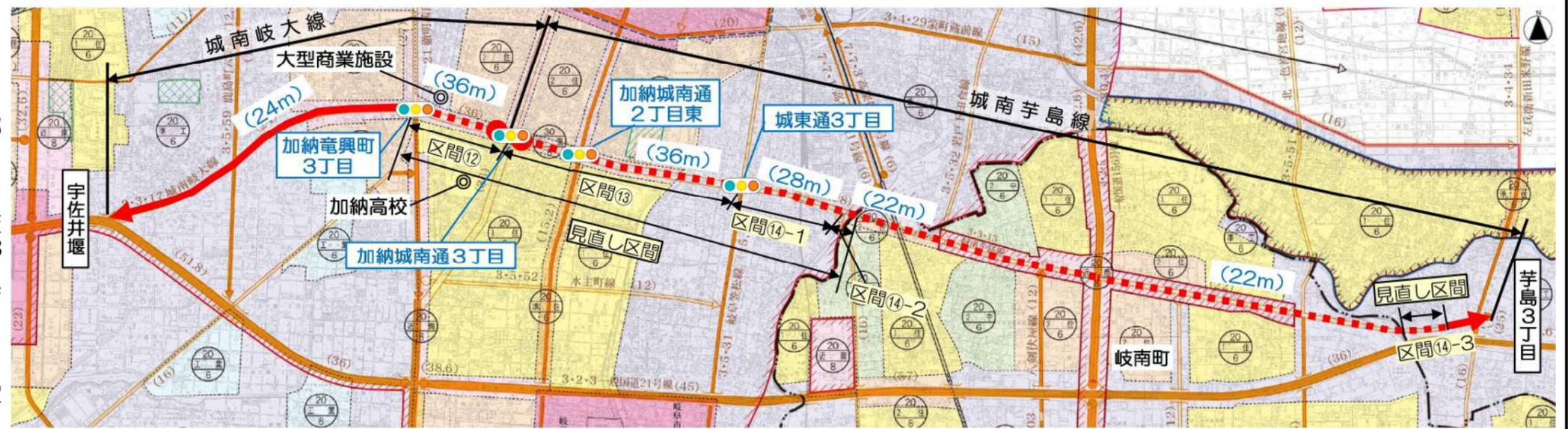
- 城南岐大線及び城南芋島線は連続した道路で、いずれも昭和42年の岐阜市内の都市計画道路網の見直しを機に南部市街地の骨格を形成する東西方向の幹線街路として決定されました。
- 城南芋島線は、その後、延長や幅員等が変更され、現在は加納城南通3丁目～芋島3丁目を起終点とし、計画延長5,060m(うち岐阜市域2,250m)、標準幅員22mで都市計画決定しています。
- 城南岐大線は、現在、加納城南通3丁目～宇佐井堰を起終点とし、計画延長2,130m、標準幅員24mで都市計画決定しています。

整備状況

【宇佐井堰～加納竜興町3丁目交差点】
○改良済

【加納竜興町3丁目交差点～岐南町との境界】
○未改良で現道があります。

【岐南町との境界～芋島3丁目】
○一部に未改良区間があり、現道があります。



— 改良済 — 未改良

見直しの理由・内容

路線の主な役割・機能

○東西方向の都市幹線街路として、まちづくりの骨格を形成する機能が求められています。

見直しの理由

変更

車線数の変化

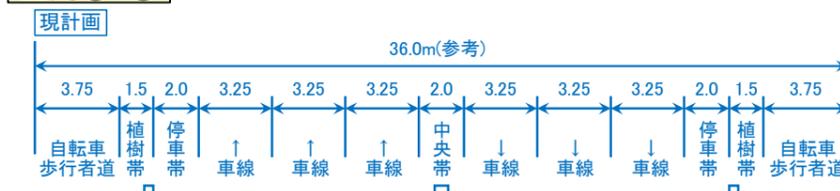
○区間⑫・⑬は6車線、区間⑭は4車線で計画されていますが、将来交通量予測によると**現道車線数(2車線)でも対応が可能**であり、東西方向の幹線街路としての機能を果たせると考えられます。

歩行者・自転車の状況

○区間⑫・⑬は、高校や大型商業施設に近いため歩行者・自転車の配慮が特に必要と考えられますが、既に両側に幅員3.5mの自転車歩行者道が整備されており、**現道でも十分な幅員が確保**できていると考えられます。

道路断面図(参考)

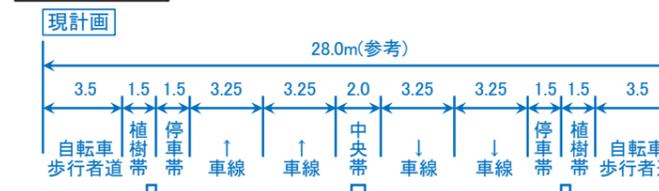
区間⑫・⑬



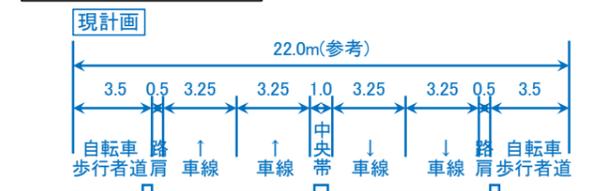
主要渋滞箇所

- 岐阜県道路交通渋滞対策推進協議会より、一部箇所が主要渋滞箇所として選定されていますが、近年当区間は交通量が減少傾向であり、また、並走する周辺路線の整備により、東西方向の交通機能の強化が図られることから、**将来、渋滞が悪化する可能性は低い**と考えられます。
- 名鉄名古屋本線の踏切付近が主要渋滞箇所として選定されていますが、連続立体交差事業により踏切が除去される予定のため、**今後踏切による渋滞は解消**されると考えられます。

区間⑭-1



区間⑭-2・⑭-3



⑫城南岐大線、⑬⑭城南芋島線

都市計画変更(案)の内容

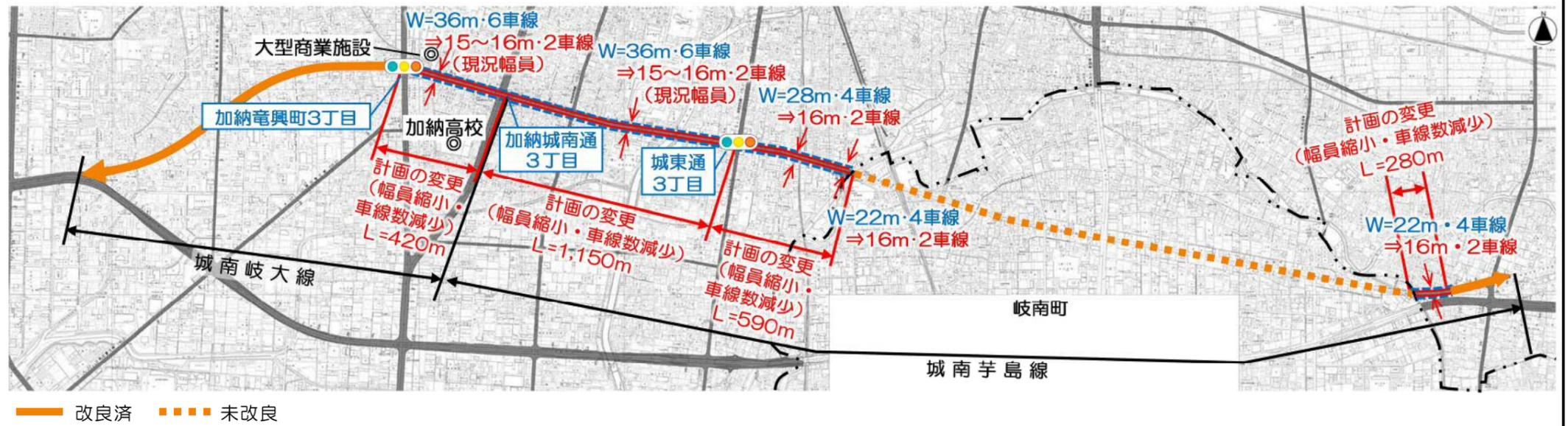
【3・3・13 城南芋島線】

- 加納城南通3丁目交差点から城東通3丁目交差点までの延長約 1,150mの区間は、計画幅員 36m・6車線から現況幅員の 15~16m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小・車線数減少)」と考えます。
- 城東通 3 丁目交差点から岐南町との市町境界までの延長約 590mの区間(計画幅員 28m)及び岐南町との市町境界より東の延長約 280mの区間(計画幅員 22m)は、4車線から 16m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小・車線数減少)」と考えます。

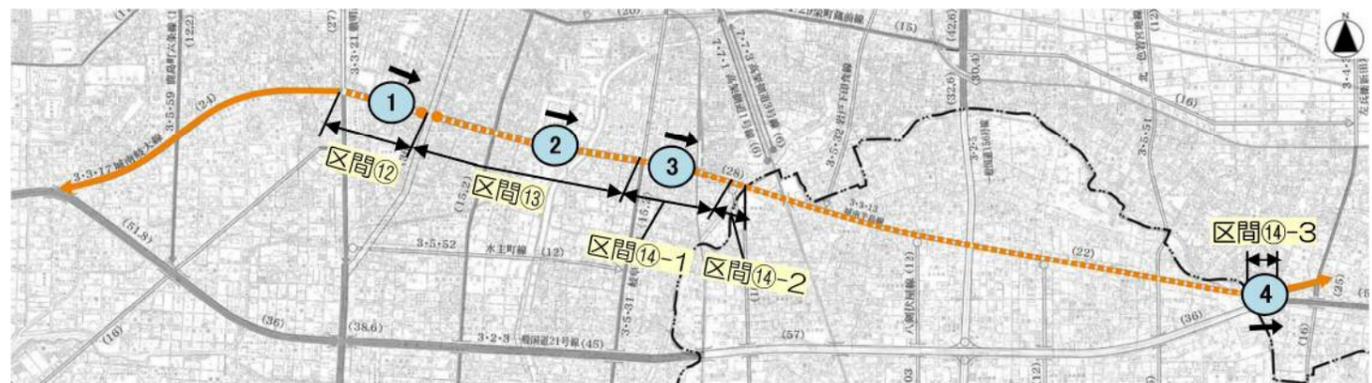
【3・3・17 城南岐大線】

- 加納城南通 3 丁目交差点から加納竜興町 3 丁目交差点までの延長約 420mの区間は、計画幅員 36m・6車線から現況幅員の 15~16m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小・車線数減少)」と考えます。

都市計画変更(案)平面図



現地の状況写真



1



2



3



4

